

# 第17次 中期経営計画 ～3年間の振り返り資料～

2024年5月13日



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

愛媛銀行は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

## 1. 主要計数目標（単体） …… P03

---

## 2. 期間中の主な取組み …… P05

---

金融プラス1戦略 …… P06	デジタル戦略 …… P11
コンサルティング戦略 …… P08	生産性向上戦略 …… P11
ESG・SDGs戦略 …… P09	市場戦略 …… P12
人財戦略 …… P10	経営管理態勢強化 …… P12
	（参考）主要K P I …… P13

# 1. 主要計数目標（単体）

---

# 主要計数目標と実績（単体）



		2024年3月期 中計当初計画	2024年3月期 実績	
収益性	当期純利益	50億円以上	45億円	厳しい経営環境のなか計画未達となったが、金融プラス1戦略による収益源多様化や、生産性向上に向けた施策等、第18次中期経営計画につながるさまざまな取組みを行った。
	コア業務粗利益	282億円以上	273億円	
	OHR ※1	73%未満	76.0%	
成長性	総預金残高	25,000億円	26,507億円	愛媛県内の旺盛な資金需要等を背景に、計画を上回る預貸金残高を達成した。
	貸出金残高	18,500億円	19,424億円	
健全性	自己資本比率 ※2	8%以上	7.77%	自己資本額が順調に増加する一方、地域での積極的なリスクテイクにより、自己資本比率は連結8%の水準を維持した。
	開示債権比率 ※3	1%台	1.98%	

※1 OHR：営業経費 ÷ コア業務粗利益

※2 自己資本比率：自己資本額 ÷ リスクアセット

※3 開示債権比率：開示債権残高 ÷ （貸出債権残高 + 保証等債権残高）

## 2. 期間中の主な取組み

---

- 事業領域の拡大／関連会社の新規設立等により、当行独自のプラットフォームを形成
- 連携拡大／西瀬戸パートナーシップ協定では、シップファイナンスをはじめ多くの分野で連携を強化

## <事業領域の拡大 / 関連会社の新規設立>

**地域商社「(株)フレンドシップえひめ」** 2021年11月 セキ(株)、南海放送(株)と共同で設立



- ・ 提携企業数 60社超
- ・ 会員数 8,000名以上  
(いずれも2024年3月末時点)
- ・ 県内自治体等から業務受託し、  
公民連携による地域活性化に貢献



**(株)西瀬戸マリンパートナーズ** 2021年7月 山口フィナンシャルグループと共同で設立



- ・ シップファイナンス業務の高度化支援
- ・ 海事産業事業者の交流促進



## <連携拡大 / 西瀬戸パートナーシップ協定>

- 2020年1月 山口フィナンシャルグループと協定締結
- 提携効果
  1. 実行額等 1,100億円超 (協定締結以降累計)
    - ・ シップファイナンスの実行 (コラボローン西瀬戸)
    - ・ 企業相互紹介
    - ・ ファンド投資 など
  2. 連携事例
    - ・ (株)西瀬戸マリンパートナーズ設立
    - ・ 「海事産業交流会2022、2024」の共催
    - ・ 地域未来共創Searchファンドへ出資
    - ・ ちいきみらい創造ファンドへの出資
    - ・ 人材交流、M&A・事業承継分野における連携
    - ・ 海外バイヤーWEB商談会 など

第18次中計に向けて

- これまで培ってきたネットワークを最大限に活用
- 法個人コンサルティングやグループ総合力による「金融プラス1」収益力強化

- 長期構想の「ローンデジタルプラットフォーム（広域ローンプラットフォーム）」が稼働開始
- NECと連携し、地方銀行として先進的なハイブリッド型の「新APプラットフォーム」を開発開始

## <ローンデジタルプラットフォーム>

- 2023年10月 稼働
  - 当行が提案し、SMBCコンシューマーファイナンスおよびNTTデータと共同開発
  - 申込受付から事前審査の結果告知、不備連絡等のコミュニケーション、ご契約までのお手続きをWEBで完結
  - 今後の展開
- ・ 当行子会社の愛媛ジェーシービーが本プラットフォームを通じて、他金融機関のローンを保証
  - ・ カードレスデジタルローンの検討・開発
  - ・ 蓄積されたデータ分析に基づくマーケティング活動の効率化

## <新APプラットフォーム>

- 2024年1月 勘定系をメインフレームで更改完了
- コア部分はメインフレーム。その外部にクラウド環境で将来の変化に柔軟に対応できる「新APプラットフォーム」を構築中（2024年7月稼働予定）
- 今後の展開
  - ・ 営業店事務をプラットフォーム上へ順次シフト開始（2024年）
  - ・ 融資実行の自動連携（2025年）
  - ・ オペレス、伝票レスの順次実現（2025年）



▲ 2024年3月5日 パネルディスカッションの様子

金融とテクノロジーが融合したフィンテックをテーマに議論する総合イベントFIN/SUM 2024において、当行/酒井監査役（前事務システム部部长）がシステム戦略をテーマとしたパネルディスカッションに登壇

- 「ローンデジタルプラットフォーム」での商品展開や、グループ会社参加による収益化
- 「新APプラットフォーム」本格稼働による生産性向上

# コンサルティング戦略 ～法人・個人向け～



- 法人コンサルティング機能を強化し、真のニーズ・課題に基づいた事業者支援を展開
- 個人の資産形成に資するさまざまな取組みを展開

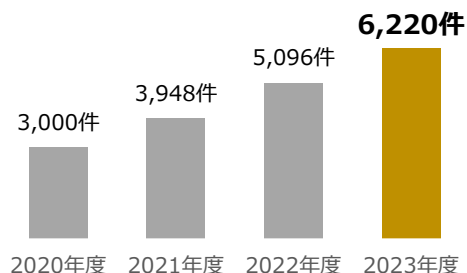
## <日本政策金融公庫との連携強化>

- 愛媛モデル構想の実現に向けて連携を強化
- 農林水産業、事業承継、創業の3分野での支援パッケージを提供

## <このほかの連携実績>

- (株)あおぞら銀行と顧客サポート業務での連携
- ホーチミン市開発商業銀行との業務提携

## <事業性評価実施件数(累計)>



## <組織改編～推進体制強化～>

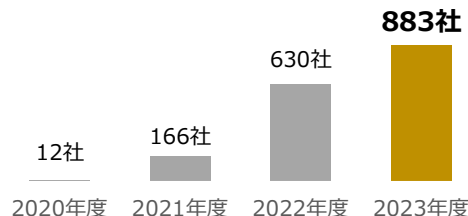
- ソリューション営業部の「経営サポート室」を「法人コンサルティング室」に改編
- 事業者支援をコンサルティングに高度化

## <サステナブルローン実績>

- ESG関連投融资  
累計実行額 287億円

## <SDGs経営立ち上げ支援サービス>

- 年度末累積支援先数の推移



## <ひめぎん保険プラザ開設>

- 2023年4月 はなみずき支店内に開設



## <投資一任契約「ひめぎんラップ」>

- 2023年4月 取扱開始
- AIを活用しリスクをコントロール

## <金融教育の実施>

- 対象者に合わせたテーマで柔軟に実施
- 2023年度の延べ受講者数約4,300名

第18次中計に向けて

- 事業者支援を更に強化し、事業性評価・ソリューション営業により取引先の企業価値を向上
- ライフデザインのトータルサポート、金融教育等を通じてお客さま本位の業務運営を高度化



- サステナビリティへの取組みを戦略的に展開
- 地域の持続可能性に資する支援メニューを拡充

## <サステナビリティの取組み進化>

2021

- TCFD提言への賛同を表明
- サステナビリティ方針を公表
- 投融資方針を公表

2022

- サステナビリティ委員会を設置
- GHG排出量削減目標を公表
- サステナブルファイナンスの取扱い開始

2023

- パートナーシップ構築宣言を公表
- SDGs支援パッケージの取扱い開始
- サステナブルファイナンスの商品拡充

2030年度

- GHG排出量削減目標  
▲50% (2013年度比)
- ESG関連投融資累計実行目標  
2,000億円

## <令和5年度 消費者志向経営優良事例表彰>



2024年2月 特別表彰を受賞  
(株式会社クラダシとの共同受賞)



左：自見内閣府特命担当大臣 中：当行 西川頭取  
右：株式会社クラダシ 関藤社長

## <サステナブルローン取扱い商品> ※2024年3月末時点4商品

- ひめぎんグリーンローン
- ひめぎんブルーローン
- ひめぎんサステナビリティ・リンク・ローン
- ひめぎんポジティブインパクトファイナンス

## <西条支店 ZEB認証取得>



2023年6月  
グランドオープン  
～ZEBの認証取得、環境に  
配慮した高機能店舗～

- 多様な人材が活躍する職場環境への取組みを着実に実践
- 人材育成方針・社内環境整備方針を公表し、人的資本経営を推進

## 人材育成方針 (2023年6月)

社員一人ひとりが専門性を身に付け、“プロフェッショナル”として、地域の課題解決支援ができる社員を育成します

## 社内環境整備方針 (2023年6月)

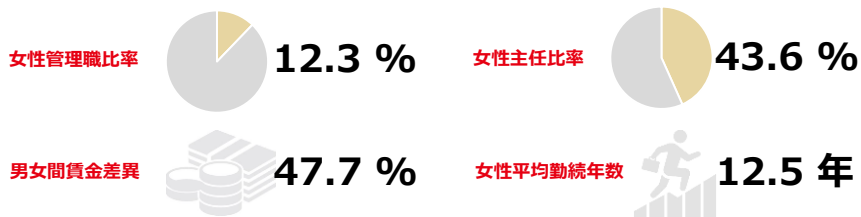
社員の安全と心身の健康を守り、地位・立場・経験・性別の違いに関わりなく、お互いの人格を尊重し、多様な人材が活躍できる職場環境を整えます

### <女性活躍・ダイバシティ推進>

- 女性の経営参画・活躍支援に向け女性タスクチーム「ひめのわ」を立ち上げ
- 当行営業店の駐車場において、「キッチンカー」による販売を実施
- 小学校児童を対象に「食育＋金融教育」の体験イベントを開催



### <女性活躍に係るKPI 2023年度実績>



### <人材への様々な取組み>

- カムバック採用制度
  - ・ 退職した元行員の復職制度
- メタバースを活用した就活イベント開催
  - ・ 企業紹介動画などのほか、行員との座談会も
- 副業によるスキルアップ醸成
  - ・ 副業従事者数 80名 (2024年3月末)
- 「健康経営優良法人\*」認定
  - ・ 2021年から2023年までの中計期間中3年連続で認定



\* 経済産業省および日本健康会議が実施する認定制度



第18次中計に向けて

- 積極的な人的投資と女性やシニア人材等の活躍によって、総合的な営業力を強化
- 行員のエンゲージメントを高める新たな施策を展開

## ■ お客さまに寄り添うためのデジタル化を推進

### <スマートフォンアプリ「ひめぎんアプリ」>

- ダウンロード数：17万件以上（2024年3月末）
- 2020年以降、5次にわたる開発で機能を拡充
- 証券口座・NISA口座開設から投資信託売買までアプリで完結

### <「DX認定事業者」認定取得>

（2023年2月取得）



### <ひめぎんビジネスポータル>

- PC等で各種預金残高照会や融資申込等が利用できる  
法人・個人事業主向けサービス



### <推進体制の整備>

- お客さま向けDX支援の高度化に向け「デジタル戦略室」設置（2021年8月）
- 行内業務改革を担う「DX推進室」設置（2024年2月）

第18次中計に向けて

## ■ デジタル化によりお客さまとの接点を増やし「寄り添う時間」を最大化

## ■ デジタル化や店舗統廃合などにより生産性向上を実現

### <店頭事務の削減>

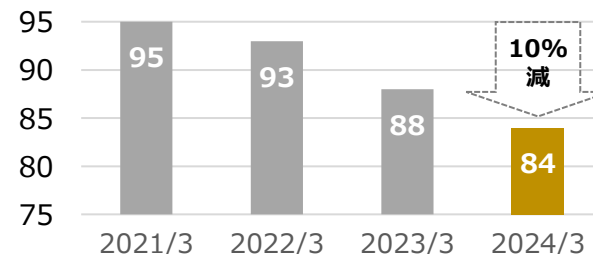
- 店頭事務の大幅削減  
→ 事務簡素化・集中化、デジタル化

### <広域店舗ネットワークの再構築>

- 高コスト店の統廃合
- 個人営業中心で軽量のスマート店の展開
- 営業店をコミュニティ形成の「場」へ  
→ 空きスペースの有効活用

（拠点数）

<拠点数の推移>



第18次中計に向けて

## ■ さらなる業務効率化・店舗人員体制再構築により専門人員を増員・育成

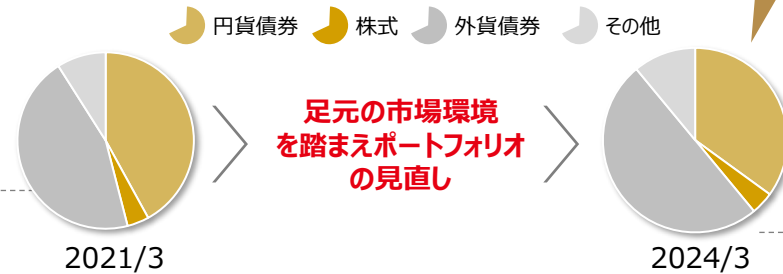
## ■ 外部環境の変化に対応しながら、人員拡充・人材育成等により運用能力を強化

### <市場戦略>

- 外部の優れた運用機関の知見も活用し、ポートフォリオの高度化、担当者の運用能力を強化
- ファンド等も有効活用し、様々な外部環境の変化を収益化

### <ポートフォリオ>

マイナス金利環境下で、中計方針に基づき外貨債券を中心に運用



～今後の方針  
円金利上昇を踏まえたポートフォリオを構築

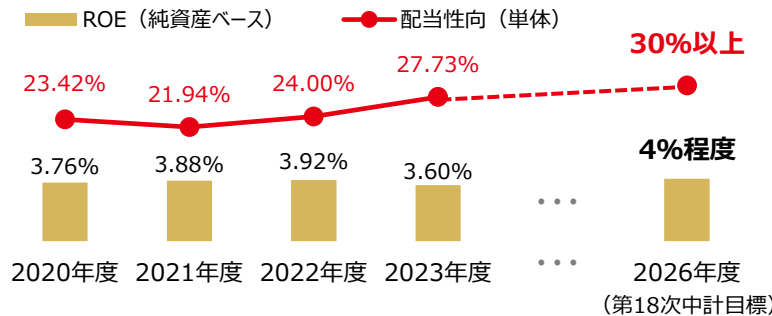
現通貨ベースの外貨債券残高は減少

### 第18次中計に向けて

## ■ 市場運用を本業と位置付け、中長期的な方針に基づき運用態勢を強化

## ■ コーポレートガバナンス改革への取組みを継続実施

### <経営管理態勢強化>



- 2023年4月、プライム市場へ移行  
<開示事項の高度化への対応>
  - ・ 統合報告書の開示
  - ・ サステナビリティサイトの立ち上げ

### 第18次中計に向けて

## ■ 企業価値向上に資するガバナンス態勢を高度化し、強固な経営基盤を確立

# (参考) 個別 K P I と実績



▼ コンサルティング戦略		2024/3期 計画	2024/3期 実績	評価
個人	投資信託残高	1,000億円	<b>622億円</b>	×
	積立投資信託 月次買付額	10億円	<b>10億円</b>	○
	ネット投信比率	50%	<b>47%</b>	△
	相続・贈与等にか かる信託商品 取扱件数	100件	<b>106件</b>	○
法人	事業性評価の 実施件数 (累計)	6,000件	<b>6,220件</b>	○
	コンサルティング 関連手数料	7億円	<b>5億円</b>	△

▼ 人財戦略		2024/3期 計画	2024/3期 実績	評価
女性管理職比率		15%以上	<b>12.3%</b>	×

▼ デジタル戦略		2024/3期 計画	2024/3期 実績	評価
ひめぎんアプリ お客さま利用率		20%	<b>33.1%</b>	○
ダイレクトチャネル 非対面受付件数		1,500件/月	<b>2,343件/月</b>	○

▼ 経営管理態勢強化		2024/3期 計画	2024/3期 実績	評価
RORA※ (年率換算)		0.51%	<b>0.41%</b>	×

※ RORA (Return on Risk-Weighted Assets) = コア業務純益 ÷ リスクアセット

本資料は、決算の概要や経営方針等のご案内を目的としたもので、  
当行が発行する有価証券の投資勧誘あるいは取引の推奨を目的  
とするものではありません。

将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などによって  
異なる可能性があることにご留意ください。

**お問い合わせ先**

**愛媛銀行 企画広報部**

TEL 089-933-1111 FAX 089-933-1027

ホームページアドレス <https://www.himegin.co.jp/>